



「講師紹介」

首藤太一（しゅとうたいち）先生

大阪市立大学大学院医学研究科

同上

大阪市立大学医学部附属病院

同上

総合医学教育学 教授

研究科長補佐・教務委員長

総合診療センター長

卒後臨床研修センター長

★経歴★

大阪市立大学医学部・同大学院卒業 同学第2外科（肝胆膵外科）勤務

2005年より大阪市立大学大学院医学研究科・医学教育学／総合診療センター勤務

2014年より現職

★自己PR★

外科在籍の17年間に、肝臓移植を含め、主として肝胆膵外科領域手術の2000例に参加。国際線のパイロットが、地上勤務となり、「パイロット養成学校」の教頭から校長先生に就任した感じです。

★受賞歴★

1994 日本肝臓学会 研究奨励賞

2001 日本消化器外科学会 国際奨励賞

2003 大阪市立大学医学部 優秀教育者（teacher of the year）賞

2010 大阪市立大学医学部 優秀教育者（teacher of the year）賞（2度目）

★講演要旨★

近年、医師をはじめとする医療系職種を目指す若者たちが増加しています。

しかし、医学部入学後、あるいは、医学部卒業後に医師として歩みだした後ですら、自らの適性に悩む若者たちを幾人もみてきました。

皆さんやお子さまは大丈夫ですか？

17年間外科医として勤務し、印象に残る数多くの医療シーンに遭遇してきました。

それらを紹介しつつ、社会が求める人材、そのために高校時代に育まねばならないことを一緒に考えましょう。

